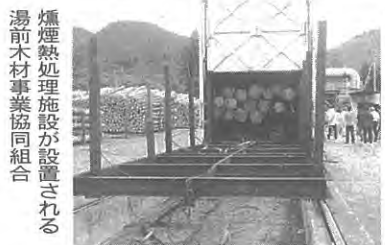


# 大径材活用で地域林業再興に挑む

## SSDプロジェクト



市房山



湯前木材事業協同組合

燻煙熱処理施設が設置される。設備投資で供給力強化

プロジェクトに取り組み奥球磨地域の林業事業体は、今後のSSD製品の供給力拡大を

仕上げ乾燥とグレーディングを担う球磨プレカット

製材ラインアップも充実

プロジェクトは製品連携によるシステム階

熊本の湯前町(球磨郡)と水上村(同)の奥球磨地域が、林野庁の林業成長産業化地域に選定された。

同地域の林業事業体は、木材・建材問屋の紅中(大阪)

市、中村晃輔社長)と連携、奥球磨地域の杉や大径材を品質保証する形で製品

化し、大市場での販路開拓などに取り組む国産材品質表示推進協議会SSDプロ

ジェクト(中村暢秀会長、事務局は紅中)を進めてきた。奥球磨地域は、林業成

長産業化地域構想における重点事項の一つとして、同プロジェクトがこれまで取

り組んできた大径材の需要促進を掲げる。プロジェクトに参加する地元事業体

は、林業成長産業化総合対策での奥球磨地域構想に基づく取り組みについて国

からの支援を受けることができ、今後、設備投資が計画されている。林業成長産

業化地域への選定が、プロジェクトのさらなる発展や地域林業再興につながるの

期待が高まっている。

紅中と奥球磨地域の地元自治体の湯前町と林業事業体

が共同で商水・上村も参画する。品開発を進め、素材生

産から製材加工、需要される杉や松は、まず家への製品販売まで

丸太のまま専用設備で産材産地と市場を直結

燻煙熱処理される。杉させた協業事業モデル

がSSDプロジェクトだ。国産材利用で課題となる杉・大径材の加工

技術を確認した。プロジェクトには同地域から上球磨森林組合や

湯前木材事業協同組合、九州横井林業、球や養生、仕上げ乾燥、グ

レーディングを経てSSD製品として大消費地へ出荷される。

KD機械等級区分の生産体強化でE70以上SSD

級区分に基づき格付けされる。丸太を余すこ

となく製品化し、付加価値を最大化して山に

還元しようという考えで、端材も無節の化粧板として活用する。

現在、製品開発当初からこだわっている国産構造用製材のJAS

機械等級区分の生産体強化でE70以上SSD級区分に基づき格付け

される。丸太を余すことなく製品化し、付加価値を最大化して山に

還元しようという考えで、端材も無節の化粧板として活用する。

現在、製品開発当初からこだわっている国産構造用製材のJAS

機械等級区分の生産体強化でE70以上SSD級区分に基づき格付け

### 紅中

国産材産地と大消費地を一気通貫

### 中大規模木造建築にも対応

#### ◆中村暢秀会長◆

地産都消を目指した一気通貫のブランド化ビジネスモデルとなるSSDプロジェクトが始動して、約15年が経過した。

材を伐って使って、また植えていこうという木材利用の考え方なども含め、事業の追い風となっている。

日本には、森林資源が豊富にある。原材料はあ



のだから、木材に関連する業界内に安定供給と品質管理という考え方が定着すれば、国産材分野は成長産業になれると考えている。

SSD Project

JAS 機械等級区分構造用製材

製品特徴：芯去り製材効用としての節・干割れ抑制の高意匠性能を発揮  
適応寸法：105 or 120角 長さ 3M・4M・5M・6M

事務局：株式会社 紅中 〒556-0021 大阪市浪速区幸町 3-5-24 TEL：06-6568-0241 FAX：06-6568-2061 HP：www.venichu.co.jp



